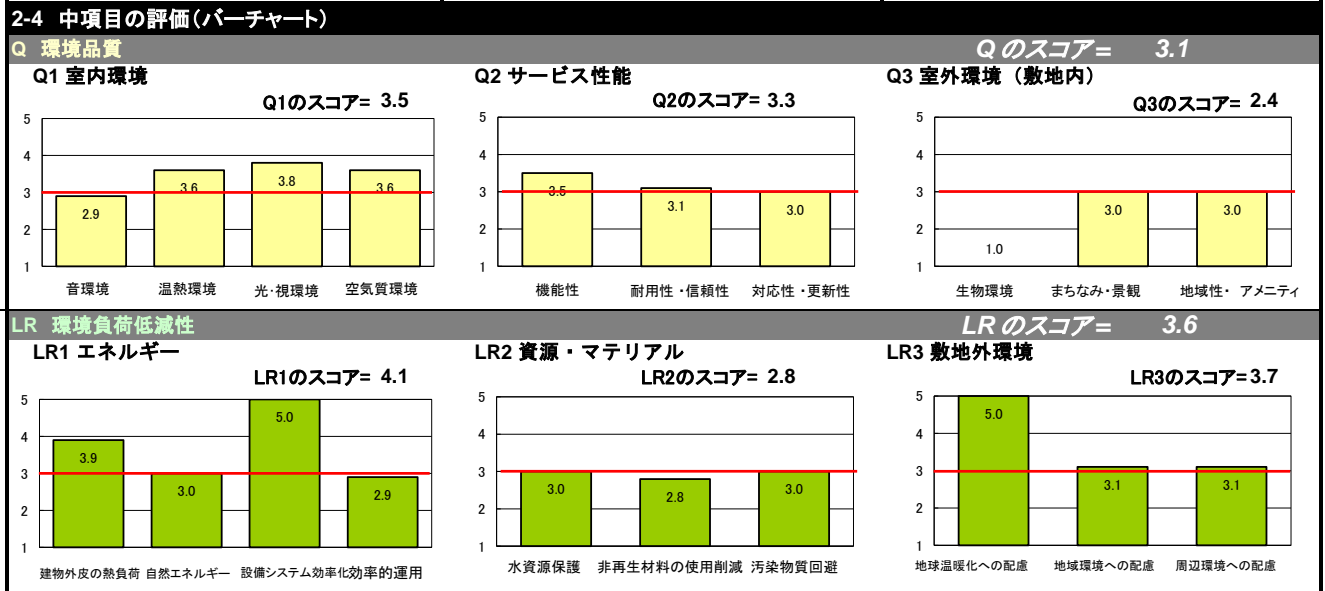
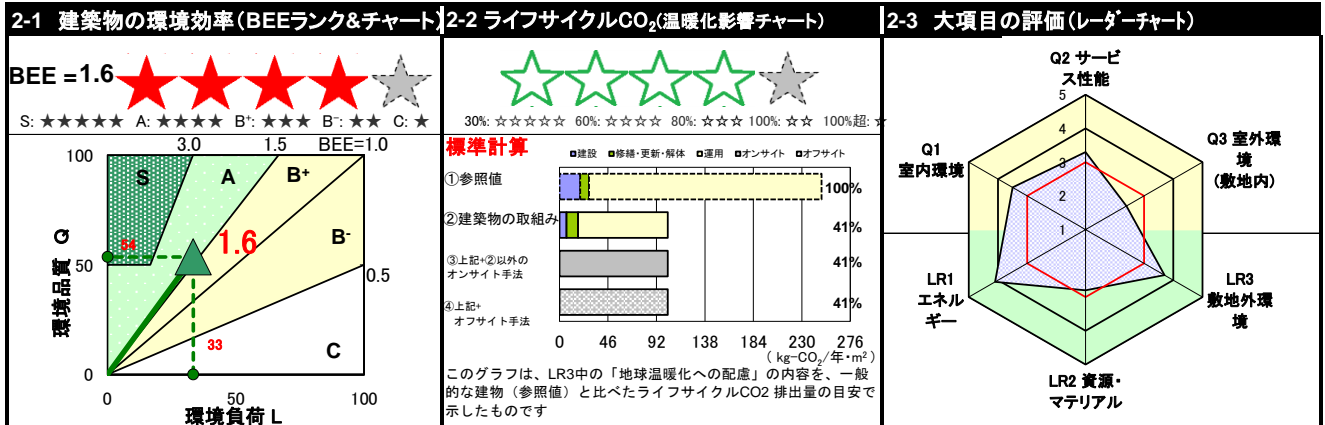


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)レーベン本厚木 新築工事 | 階数 | 地上19F |
| 建設地 | 厚木市中町四丁目108番、109番、110番 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 395 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 物販店,集合住宅, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年8月 予定 | 評価の実施日 | 2018年6月4日 |
| 敷地面積 | 1,738 m ² | 作成者 | 株式会社三輪設計 |
| 建築面積 | 695 m ² | 確認日 | 2018年6月4日 |
| 延床面積 | 10,049 m ² | 確認者 | 株式会社三輪設計 |



| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---|---|
| 総合 | その他 | |
| 良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。 | | |
| Q1 室内環境 外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級等級4を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。 | Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。 | Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表温度上昇を極力抑える計画とした。 |
| LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。 | LR2 資源・マテリアル LGS工法より分別が容易とし、内装材と設備が容易にそれぞれ取り外すことができる。 | LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を設置して交通負荷抑制に努めた。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される